

臨床研究「拡張型心筋症 (DCM) 患者の中で肥満の患者の予後や特徴についての研究」 について

筑波大学附属病院循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の意義・目的・方法

近年、心不全パンデミックと言われ心不全患者の数は増加傾向となっています。心不全治療は、薬物治療や CRT などのデバイスによる再同期療法に加え、機能性僧帽弁逆流に対する Mitra Clip、さらには心臓移植および心臓移植を目指した人工補助心臓の植え込みなど、様々な選択肢が存在します。その中でも特に拡張型心筋症 (DCM) を背景心疾患に持つ心不全は、未だに難治性疾患であることに変わりはなく、本邦でも心臓移植待機患者および待機時間は増加の一途を辿っています。肥満は心不全のリスク因子ではありますが、肥満者の心不全の予後は比較的良好であるといわれております。また肥満患者に心不全治療を行い、治療が奏功することによって、拡大した左室の縮小、左室収縮能の改善というリバースリモデリングを認めることもしばしば経験いたします。当院における DCM 患者の中で肥満患者と非肥満患者における臨床的特徴や心機能、心不全の経過、そして心血管イベントの違いを明らかにすることが目的です。

② 研究対象

2014 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日の期間に筑波大学附属病院において、DCM の診断で入院・外来通院した患者さま

③ 研究期間

倫理審査委員会承認後～2022 年 3 月 31 日

④ 資料・情報の項目

検査データ (心電図、心エコー図検査、胸部レントゲン検査、血液検査、カテーテル検査)

診療録

⑤ 資料・情報の管理について責任を有する者

研究責任者：筑波大学附属病院 循環器内科 教授 家田真樹

⑥ 研究機関名・研究者名

筑波大学附属病院 循環器内科 (家田真樹, 石津智子, 中川大嗣)

⑦保有する個人情報に関する利用目的

この研究は、筑波大学附属病院において拡張型心筋症と診断された患者さんを対象に、診療及び検査記録を用いて上記の課題について調査するものです。本研究の結果は学術目的のために学会や論文で公表されることがありますが、その場合も個人情報の秘密は厳重に守られ、第三者には個人の特定ができないように配慮されます。

⑧保有する個人情報の開示手続

あなたのデータが本研究に用いられているかどうかを知りたい場合や、用いられている場合において、あなたがデータ使用の取り止めを希望される場合には、いつでも下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、あなたのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。研究終了後10年間保管の後にデータは廃棄されます。

⑨問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：筑波大学附属病院 循環器内科（講師 石津智子，クリニカルフェロ
ー 中川大嗣）

電話：029-853-3143（循環器内科医局 対応可能時間 平日 9:00～17:00）

FAX：029-853-7529